



HIGHER SCHOOL CERTIFICATE EXAMINATION

1999

JAPANESE

3 UNIT (ADDITIONAL)
(30 Marks)

Time allowed—One hour
(Plus 5 minutes reading time)

DIRECTIONS TO CANDIDATES

- Attempt ALL questions.

Section I—Reading Skills (10 marks)

- All answers MUST be written in ENGLISH.
- Answer Section I in a SEPARATE Writing Booklet.

Section II—Writing Skills (10 marks)

- All answers MUST be written in JAPANESE.
- Answer Section II (Question 2) in the special Writing Skills Answer Booklet.

Section III—Prescribed Text (10 marks)

- Transliterations must be written in *hiragana*.
- Answers to the questions MUST be written in ENGLISH.
- Answer Section III in a SEPARATE Writing Booklet.

SECTION I—READING SKILLS

(10 Marks)

QUESTION 1 Use a SEPARATE Writing Booklet.

Read the following article, then answer in ENGLISH the questions on the following page. Include all relevant details from the passage in your answers.

<グループ>は、日本人でいるための第一条件^{じょうけん}

Part of the group—essential to being Japanese?

10年前には、せかいで一番金持ちのように見えた日本は、2、3年前から、けいざいがだんだんおちてきた。

今まで日本の社会で、大切なことは、グループの中せつにそくいることと、何でもほかの人と同じにすることだった。グループというのは家族や、友達、または近所や社会のことだ。少しでもちがうことをすると、親おややしんせき、まわり中の人からおこられたり、友達からいじめられたりした。自分の意見いをはっきり言う人や、グループに入らない人は、社会からいやがられた。

しかし、けいざいの力がよわくなったので、今まで力を持っていた大きい銀行や会社を、そんなにしんじることができなくなってきた。そして、社会のじょうしきもかわってきた。

一部のわかい人達ぶは日本たちのでんとうかんがきな考え方から、グループではなくて、自分の考えかんがを持つほうかんががいいと考えるようになってきた。そういう人達たちは、外国にりゅうがくしたり、住んだけいけんかんががあったりするから、日本を外から見る目をもっている。だから、日本かんがのかわらなければならないところが、よく見えるのだらう。

21世紀が近くなって、せかい中、特にアジアが大きくかわっていくとき、日本だけが、古いむかしのじょうしきで、社会を動かすことはできない。これからの日本人の、大きいしごとは、日本ぶんかのよいところをなくさないで、社会やせいじをかえていくことだ。

でも、<グループ>という考えかんがは、とても強い。新しい考えかんがを持ったわかい人達たちは、<ほんとうの日本人>ではなくなると、みんなからのけものにされ、ふかくきずついている。

QUESTION 1 (Continued)

- (a) In Japanese society, how have people who act differently or speak frankly been treated?
- (b) What are the consequences of the weakened Japanese economy?
- (c) Why can some young people contribute to a change in Japan?
- (d) What major task faces the Japanese?
- (e) What is the experience of young Japanese who adopt a new way of thinking?

Please turn over

SECTION II—WRITING SKILLS

(10 Marks)

QUESTION 2 Use the special Writing Skills Answer Booklet provided.

The reading passage on page 2 discusses group pressure in Japan.

You have been asked to write an **article** in JAPANESE about group pressure in Australia. In your own words, write an article entitled 「グループ プレッシャー」. It should be 200 to 250 ji in length.

In your answer you should:

- include some examples of group pressure in Australia;
- express your opinion of group pressure.

Use the PLAIN FORM.

BLANK PAGE

Please turn over

SECTION III—PRESCRIBED TEXT

(10 Marks)

QUESTION 3 Use a SEPARATE Writing Booklet.

Read the following passage and answer in ENGLISH the questions that follow. Include all relevant details from the passage, AND use your knowledge of the story as a whole, in your answers.

Transliterate the six SIDE-LINED sections ONLY of the following passage into *hiragana*.

PASSAGE

ママがパパに聞いた。

「どうする？行ってみる？」

たしかに、演奏会⁽¹⁾の数は、へつていた。第一、出征^{しゆつせい}していく人がふえてきて、オーケストラのメンバーも揃っていなかった。NHKの放送の仕事も、ほとんどが戦争のことになっていて、パパ達の音楽の仕事は少なかった。だから、今では、こういう仕事も、有難い、はずだった。

でも、パパは、ママの質問に、時間をかけて、答えた。

「…僕のヴァイオリンで、軍歌⁽²⁾は、弾きたくない」
ママは、いった。

「そうね。やめれば？たべものだって、なんとか、なるわよ」

パパだって、トットちゃんが、ろくなたべものしかなくて、毎日、キャラメルキャラメルの販売機^{はんばいき}に、むなしく、お金を入れていることは、知っていた。だから、ちよつと行って、軍歌を弾いて、おみやげをもらって帰れば、どんなに家の中が、たのしくなるか、そして、トットちゃんにも、たべものを、お腹いっぱい、たべさせてやれるだろうことは、わかっていた。

でも、それより以上に、パパには、自分の音楽⁽³⁾が大切だった。ママにも、それが、よくわかっていたので、

「ちよつと行って来てくだされば、いいのに

…」

QUESTION 3 (Continued)

なんて、いわなかったのだった。

パパは、トットちゃんに、悲しそうに、いった。

「ごめんね、トット助！」

トットちゃんには、まだ⁽⁴⁾芸術とか、思想とか、また、仕事のことは、よくわからなかった。でも、パパが本当にヴァイオリンが好きで、そのために、⁽⁵⁾勘当^{かんだう}というのになって、家や、親戚の、のけものにされたことや、あと、いろんな大変なことがあつたけど、それでも、絶対にやめなかつたってこと、知っていたから、いやなものは、弾かないほうが、いい、⁽⁶⁾と思った。だから、トットちゃんは、パパのまわりを、どびはねながら、元気にいった。

「平気！私もパパのヴァイオリン、好きだもの！」

だけど、次の日も、トットちゃんは、また、⁽⁶⁾大岡山の駅で降りて、キヤラメル⁽⁶⁾の出口を、のぞきこんだ。

決して、何も出て来るはずのない、出口を。

- 一、 どうして、トットちゃんのかぞくにとって、このような仕事が有難いのですか。
- 二、 お父さんはヴァイオリンで軍歌を弾きたくないと言いましたが、これについてママはどう思いましたか。
- 三、 パパが本当にヴァイオリンが好きだということがトットちゃんになぜわかったのですか。

BLANK PAGE